

がん患者・家族サロン通信 vol.1 H23.11



大崎市民病院 地域医療部 相談支援センター
〒989-6183 宮城県大崎市古川千手寺2丁目3番10号
TEL 0229-23-3311

大崎市民病院では、がん患者さんやご家族が集まって語り合う交流の場として、平成23年10月から月2回、サロンを開設しています。

サロンって何？

「同じ病気の人と話がしたい」「話を聞いてほしい」「話を聞いてあげたい」「他の人はどうしているのか聞きたい」などの声から始まりました。病院や保健所が主体となっているサロンのほかにも、患者さんやご家族が作られたサロンもあります。当院のサロンは、当院の受診にかかわらずどなたでもお越しいただけます。

どんなことをしているの？

患者さんご自身やご家族の体験談や、日常生活のいろいろな思いを自由に話します。お互いの疑問や不安を一緒に考えたり、参加している看護師や医師から専門的なアドバイスをもらうこともあります。

第1回(10/12)実施報告

そこが知りたい!①「サロンって何?来て!見て!聞いて!」の会

一般参加者6名、スタッフなんと9名、保健所の方1名の参加がありました。

初めに相談支援センターの相談員から、サロンができた経緯やサロンの役割、参加するときの注意点などをお話しました。

そのあとのフリートークでは、一番ご年配と思われた参加者から、「術後に趣味の歌声喫茶で歌えたことがうれしかった!」「ユーチューブ(インターネットの動画サイト)でいろいろな人の歌を聞いて気分転換しています。」等の話が出され、一同皆感心!!病気にも年齢にも(?)負けない、元気パワーのおすそ分けをいただきました。

参加者の声

次に出すボロがないほど、赤裸々に話してしまいました。

一步一步、一人でも多くの方に知ってほしいです。

緊張して参加しましたが、始まってからは肩の力が抜け、楽しく過ごせました。でも、自分が話をするのは、やっぱり緊張します。

気軽に立ち寄れるように、サロンを常設してほしい。

患者さんが自由に発言できる雰囲気が素晴らしいと思いました。



第2回(10/24)実施報告



この指とまれ!①「血液・リンパのがん」の会

一般参加者3名、スタッフ4名の参加がありました。

外来治療を続けている方は、なかなか患者様同士で知り合うきっかけがないのですが、入院を経験すると、入院中に同じ病気の人と知り合ったり、スタッフと顔見知りになったりして、退院後もよい関係が続いていることがわかりました。

「白血病かな」とさらっと告知され、頭は真っ白だったけれど、「大丈夫だから」の一言だけが残って治療に励むことができたことなど、みんなで「うん、うん」と頷きながら話を聞きました。

血液内科の石川泉先生から、今は非常に良い薬があるので、頑張って治療を継続してほしいと話がありました。

心地よい時間を過ごす為の

お約束



- 会で知り得た個人情報には会場を出てからは話してはいけません。
- 宗教活動や特定の治療法などの勧誘はしないでください。
- 話したい人は話し、話したくない人は無理に話さず、人の話を聞くだけで構いません。
- 人の話を遮ったり、評価・批判的な発言はしないでください。

今後の開催予定は・・・

11月10日(木) 14:00~「男性」の会

11月28日(月) 14:00~「子宮・卵巣がん」の会

12月8日(木) 14:00~「脱毛ケア(仮)」の会

会場は南病棟1階緩和ケア外来です。

申込み・問い合わせは相談支援センターまで